

入鹿小だより

～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 平 成 3 1 年 1 月 9 日
校 長 平 成 3 1 年 1 月 9 日

あけましておめでとうございます

新しい年が始まってすでに9日めとなりますが、年の最初のご挨拶には変わりはないので、「あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。」

さて、みなさんはどのようなお正月を過ごされたでしょうか。今年の年末年始は穏やかでしたから、正月には初詣に行かれた方もたくさんいるのではないのでしょうか。私の出身地、伊勢には「神宮」がありますので、お正月はとても人がいっぱいです。結果、市内のあちこちで交通渋滞が起こり、身動きが取りづらくなります。ですので、私の初詣は、お正月をかなり過ぎてから行く、もしくは行かないかのどちらかです。

初詣に行っても行かなくても、今年が皆様にとって良い年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

始業式には全員がそろうことができました。私の宿題を達成することができ、とてもうれしく思っています。しかも朝一番から「おはようございます」「明けましておめでとうございます」と元気な挨拶をしてくれ、「1年の計は元旦にあり」というように（今日が学校の元旦ですから）、今年1年を見通した時に、とても幸先の良いスタートを切ることができたと思っています。

私が中学校で担任していたとき、年初めに「今年の抱負を漢字1文字で表すと」と題して、書き初めのようなこと（筆を使うわけではありません）をしていました。子どもたちと一緒に私も1文字を書くのですが、「和」と「夢」を好んで書いていました。平和の「和」、なごむの「和」、そのどちらにも学級が心休まる落ちつける場所になってほしいという気持ちを込めていました。中3を担任したときには「夢」と書いていました。高校受験がほとんどの生徒にとっての夢をかなえる第一関門になりますから、自分の力で夢に一步一步近づいてほしいという気持ちを込めていました。「夢は叶うものではなく、叶えるものだ」とのひとことを添えて・・・。

昨日の始業式で子どもたちにこの漢字の話をしました。1・2年生には漢字は難しかったかもしれませんが、気持ちは伝わったのではないかとと思っています。いくつになっても夢を持ち、その実現に向けて努力をする。叶うことができないかもしれないけど、そのときした努力は、決して無駄にはならない。いつか自分にめぐってくる。そう信じています。今回の「マナウスよもやま話」は書き初め大会のことですが、皆さんも元旦は過ぎてしまいましたが、1年の計（計画、見通し、抱負といった言葉な適当でしょうか）を込めて、漢字1文字で表してみたいかがですか。

アマゾンで書き初め大会

お正月といえば……。その答えはいくつかありますが、そのひとつに書き初めがあるかと思えます。マナウス日本人学校でも3学期に書き初め大会を行っていました。これには文化コースの児童生徒も含めて、全員が、しかも1・2年生も毛筆で書き初めをします。何の字を書くかは各自が決めます。ですからお手本なるものは存在しません。

体育館に新聞紙を広げて40人くらいが一斉に書くのですから、まさに書き初め大会です。

マナウスでは半紙を買うことはできませんから、半紙は貴重品です。派遣教員が一時帰国した際に日本で購入して地球の裏側まで持ってくるのです。ですから、練習は新聞紙に書き、清書はひとり2枚までだったように記憶しています。ちなみに書道セットは各自もちで、マナウスに来る際の日本からの必需品のひとつとして挙げられています。

写真をご覧くださいとお分かりかと思いますが、書く字がさまざまで、なかなか個性豊かだとは思いませんか。半紙を持っている写真は、上から小学生の低学年、中学年、高学年、中学生の1年、2・3年です。さすがに中学生ともなると書き初めらしい文字が出てきますが、小学生は思い思いに書いていて、おもしろいですね。

お正月といえば、書き初め大会以外にも、餅つき大会もありました。日系人で臼と杵をおもちの方がみえたので、そこで道具一式をお借りし、お母さん方があんこや大根、きな粉などを用意して、つきたてのお餅をみんなで食べました。

このように、日本を離れているものの、逆に日本の文化を大切にし、体験することで日本を見つめなおすことができます。今の学校では、書き初め大会や餅つき大会をしているところは少ないでしょうね。そういう、入鹿小学校でもしていませんからね。

